

# 令和3年度 九重町決算報告

## 一般会計

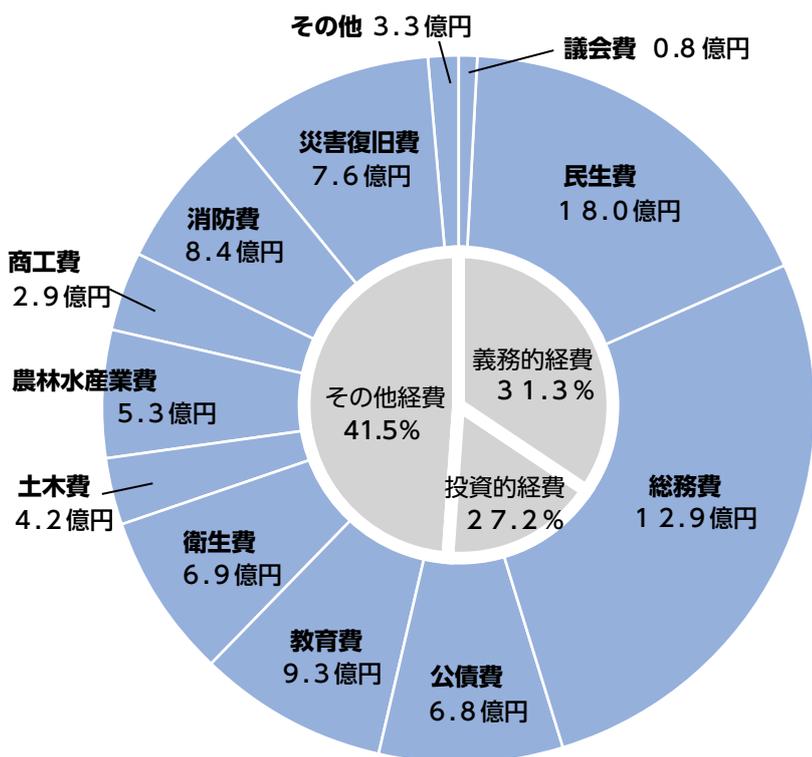
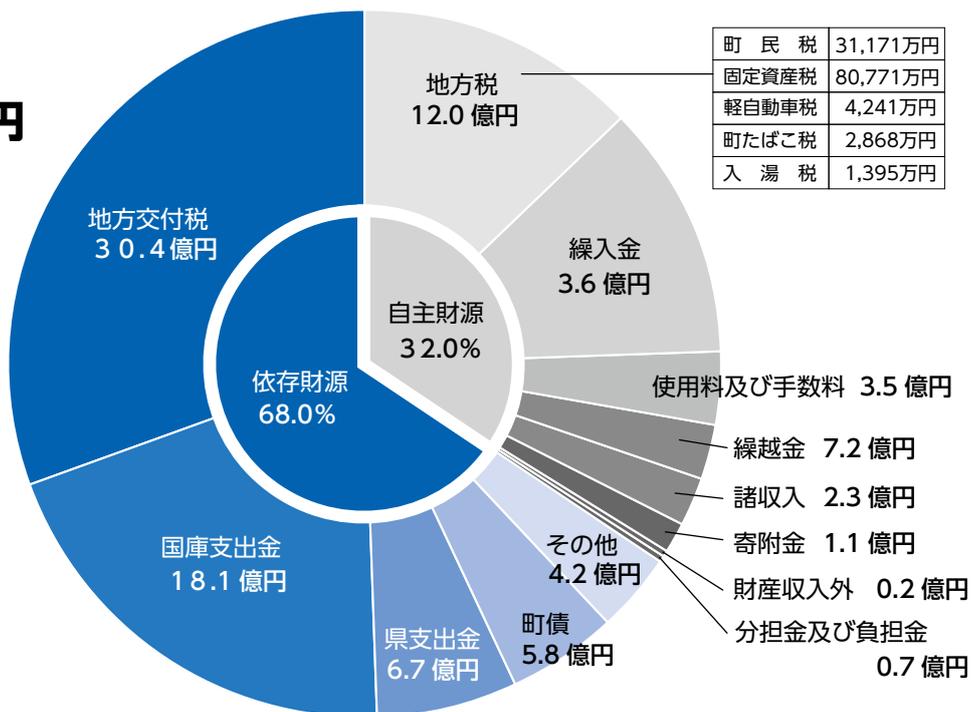
一般会計の歳入は95億7,911万円、歳出は86億4,585万円。歳入歳出差引額は9億3,326万円となり、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は6億2,908万円の黒字となりました。

### 歳入総額

## 95億7,911万円

歳入は、前年度より190万円減少した決算となりました。

災害復旧事業や新型コロナウイルス感染症対策等の繰り越し事業に伴う繰越金が増加した一方で、地方交付税の増額等により基金繰入金が増加した結果、前年度と同程度となりました。



### 歳出総額

## 86億4,585万円

歳出は、前年度より4,647万円増加した決算となりました。過年度災害復旧に関する経費や淮園小学校大規模改修事業、各種給付金などが主な増額の要因です。

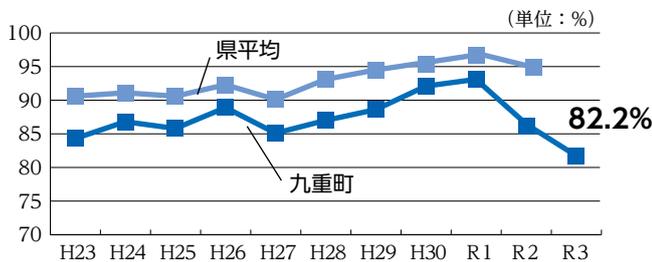
令和3年度の一般会計、特別会計の決算がまとまり、令和4年第3回九重町議会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金や、国・県から町に入ったお金がいくらで、どのように使われたか、町の財政状況はどうなっているのか、詳しくお伝えします。

## 決算に基づく財政状況の指標

	説明	九重町の比率	早期健全化基準
<b>実質赤字比率</b>	一般会計などを対象にした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当なし	15%
<b>連結実質赤字比率</b>	すべての会計を対象にした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率	該当なし	20%
<b>実質公債費比率</b>	一般会計などが負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模を基本にした額に対する比率	5.1%	25%
<b>将来負担比率</b>	一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本にした額に対する比率	該当なし	350%
<b>資金不足比率</b>	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	該当なし	経営健全化基準 20%

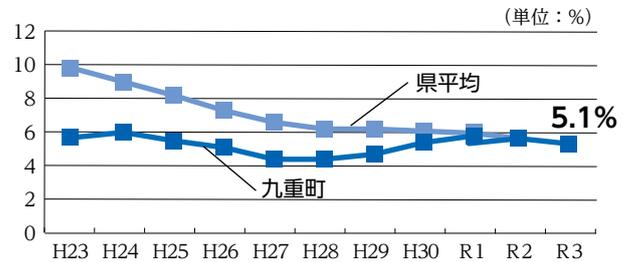
### 経常収支比率

経常的に見込める収入と、公債費など経常的に支払う必要がある支出を比べたものです。



### 実質公債費比率

地方債（借入金）返済に対する財政負担の健全度を判断するものです。



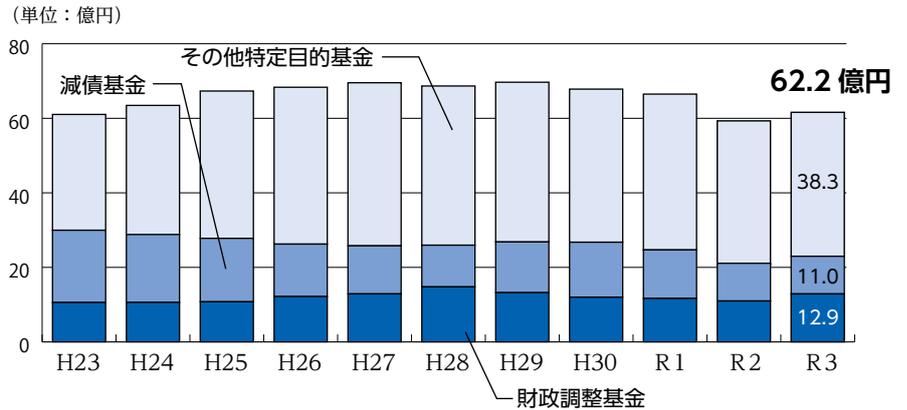
## 町民1人当たりの歳出（一般会計） 合計976,712円（↑）

<b>議会費</b> (↓) 8,907円 町議会の運営のための経費	<b>総務費</b> (↑) 14万5,688円 役場の全般的な事務の経費、ケーブルテレビの経費	<b>民生費</b> (↑) 20万3,278円 高齢者や障がい福祉、子育て支援等のための経費	<b>衛生費</b> (↓) 7万8,707円 保健衛生や疾病予防、ゴミ・し尿処理のための経費
<b>農林水産業費</b> (↓) 5万9,803円 農業、林業、畜産業の振興のための経費	<b>商工費</b> (↑) 3万3,022円 商工や観光の振興、大吊橋運営のための経費	<b>土木費</b> (↓) 4万7,383円 道路の改良・維持管理や町営住宅改修のための経費	<b>消防費</b> (↑) 9万4,587円 消防団活動や広域消防の負担金等の経費
<b>教育費</b> (↓) 10万4,961円 学校教育や社会教育、スポーツや文化活動のための経費	<b>災害復旧費</b> (↑) 8万5,422円 災害復旧のための経費	<b>公債費</b> (↑) 7万7,304円 町の借金を返済するための経費	<b>その他</b> (↑) 3万7,650円 預金への積立や予備費等

( ) 内の矢印は令和2年度決算と比較した増減

## 基金残高推移

基金（町の貯金）は法律や条例に基づいて設置されるもので、特定の目的のために活用することができます。九重町には普通会計に24の基金があります。令和3年度末で約62.2億円となっています。



## 基金残高（年度末現在高）

区 分		令和2年度	令和3年度	基金の目的
財政調整基金		10億3,320万円	12億9,145万円	年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金
減債基金		11億291万円	11億388万円	地方債の返済を計画的に行うための基金
其他特定目的基金	取崩し型（積立型）			
	町有施設整備基金	28億4,850万円	28億3,300万円	町有施設を整備するための基金
	地域振興基金	2,848万円	2,848万円	福祉活動促進及び生活環境整備のための基金
	飯田高原診療所施設整備基金	302万円	84万円	医療機器等の整備を図るための基金
	環境整備基金	2,422万円	2,424万円	生活環境保全及び環境整備を図るための基金
	ふるさと農村活性化基金	1,081万円	1,082万円	土地改良施設の維持管理を図るための基金
	スクールバス事業基金	5,681万円	5,683万円	旧国鉄の路線廃止に伴う代替交通のための基金
	飯田小学校図書整備基金	600万円	580万円	飯田小学校の図書整備のための基金
	緑陽中学校図書整備基金	500万円	475万円	緑陽中学校の図書整備のための基金
	ふるさと創生事業基金	5億299万円	5億2,304万円	ふるさと創生事業の実施のための基金
	園児送迎バス運営基金	1,588万円	989万円	こども園における園バス運営のための基金
	学校教育振興基金	1,321万円	1,292万円	小中学校の校外活動のための基金
	松木ダム小水力発電施設基金	333万円	113万円	農地整備事業のための基金
	森林環境譲与税基金	2,786万円	5,681万円	森林整備促進のための基金
	特定防衛施設周辺整備事業調整交付金事業基金	5,100万円	4,958万円	公共施設の整備や生活環境改善のための基金
取崩し型 小計	35億9,711万円	36億1,813万円		
運果用型実				
九重町福祉基金	1億9,746万円	1億9,746万円	福祉事業の円滑な運営を図るための基金	
足立敬老年金基金	1,000万円	1,000万円	高齢者福祉の増進のための基金	
果実運用型 小計	2億746万円	2億746万円		
その他の特定目的基金合計	38億457万円	38億2,558万円		
基金合計	59億4,067万円	62億2,092万円		

財政調整基金については、突発的な災害等への対応も考慮して、標準財政規模の30%程度（約12億円）を目途に積立てを行っており、令和3年度は地方交付税の増額等により取崩しを行わなかったため、昨年度より2.5億円程度増額しています。

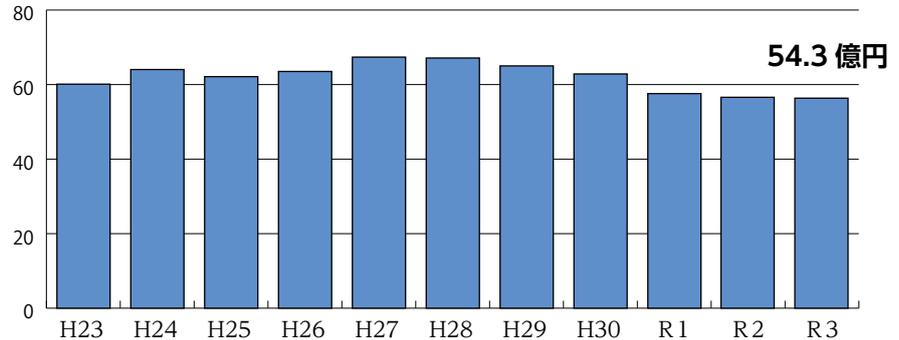
減債基金については、令和2年7月豪雨災害における災害復旧事業や防災行政無線デジタル化事業に係る地方債の発行が見込まれるため、後年度の償還における一般財源を圧迫しないよう余剰財源を活用した積立てを行いながら、適切に運用していきます。

町有施設整備基金については、今後老朽施設の長寿命化対策に多大な財源が必要となることから、個別施設計画の策定を行い、適切な基金運営を図っていきます。

## 地方債残高推移

地方債（借入金）は後年での負担する公債費（借金返済）の増加を抑制するため、国の財政措置のある有利なものに限り発行抑制に努めています。残高は令和3年度末で約54.3億円です。

(単位：億円)



## 事業別地方債残高

区分	令和2年度	償還額	発行額	令和3年度
公共事業等債	759万円	376万円	0	383万円
公営住宅事業債	2億4,857万円	2,761万円	0	2億2,096万円
災害復旧事業債	2億4,574万円	442万円	2億820万円	4億4,952万円
緊急防災減債事業債	2,443万円	811万円	0	1,632万円
全国防災事業債	8,534万円	410万円	0	8,124万円
教育・福祉施設整備債	1億7,265万円	2,101万円	7,970万円	2億3,134万円
一般単独事業債	2億1,124万円	1,839万円	8,250万円	2億7,535万円
過疎対策事業債	21億6,223万円	3億3,693万円	8,060万円	19億590万円
財源対策債	514万円	205万円	0	309万円
減収補てん債	1,286万円	0	0	1,286万円
減税補てん債等	1,204万円	366万円	0	838万円
臨時財政対策債	23億3,281万円	2億3,889万円	1億2,796万円	22億2,188万円
合計	55億2,064万円	6億6,893万円	5億7,896万円	54億3,067万円

### 起債の内容

<b>災害復旧事業債</b>	2億820万円
・過年度災害復旧に要する費用として	
<b>教育・福祉施設等整備事業債</b>	7,970万円
・淮園小学校大規模改修に要する費用として	
<b>一般単独事業</b>	8,250万円
・防災行政無線デジタル化、急傾斜地崩落対策、砂防施設再生市町村営急傾斜事業に要する費用として	
<b>過疎対策費事業</b>	8,060万円
・ソフト事業分は地方路線バス運行費補助、コミュニティバス運行費補助に要する費用として	
・ハード事業分は県工事負担金等に要する費用として	
<b>臨時財政対策債</b>	1億2,796万円
・地方一般財源不足に対処する特例発行分として	

## 特別会計

特別会計は、九重町が特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入を財源として支出するため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

区分	国民健康保険	水道	飯田高原診療所	介護	後期高齢者医療
歳入決算額	15億1,149万円	2億4,032万円	6,855万円	15億1,318万円	1億3,541万円
歳出決算額	14億4,290万円	2億1,629万円	6,694万円	14億5,408万円	1億3,535万円
収支差額	6,859万円	2,403万円	161万円	5,910万円	6万円